

谷村議員 要望項目一覧

平成26年度当初分

要望項目	左 に対する 対応方針等
1 人口減少について本格的な取り組みの開始	
未来づくり推進局等に本県の人口減少への対策を検討・調査する部署を設けていただきたい	平成25年5月から副知事をチーム長とした全庁横断的な「人口・活力対策チーム」を設置して、検討を進めているところであり、引き続きこの体制で進めていきたい。
2 修学旅行や社会見学の受け入れの推進	
境港お魚ガイド活動支援事業の事業継続と併せて、境港の見学施設の早期整備を求めるとともに、農林水産業の修学旅行・社会見学の受け入れを一層推進するよう望む。	境港お魚ガイド活動支援事業については、継続実施するよう当初予算において検討しているところであり、見学施設については、高度衛生管理型市場と併せて整備するよう国・市場関係者と検討している。 また、修学旅行等の受け入れについては、農協や市町村などが生産現場に子どもたちや消費者を招いて農作業体験の機会を提供する取組に対して支援する教育ファーム支援事業などにより、引き続き推進していきたい。 ・境港お魚ガイド活動支援事業 2,508千円 ・教育ファーム支援事業 2,310千円
3 森林病虫害対策、鳥獣被害防止対策の取り組みの拡充	
ナラ枯れ、マツくい虫等の森林病虫害は拡散してからでは後手になりがちであり早期に集中的な措置が肝要である。	ナラ枯れ及び松くい虫等の森林病虫害被害対策については、国・市町村・県が連携して取り組んできており、これまでの助成措置の継続について、当初予算において検討する。 ・ナラ枯れ対策事業 73,972千円 ・松くい虫等防除事業 129,767千円
鹿、猪、鳥獣被害も深刻になりつつあるため、回収・処理体制の充実、ジビエ料理の普及に支援を拡充・強化することが有効である。	捕獲個体の処理については、国事業で解体処理施設の整備を図るとともに、平成25年度から緊急捕獲等対策事業（県協議会基金事業）で埋設、運搬についても助成を始めたところであり、ジビエ料理の普及とあわせ、引き続き取組を推進したい。 ・鳥獣被害総合対策事業 113,461千円 ・とっとりジビエ利用促進総合対策事業（とっとりジビエ消費拡大事業）7,300千円
鳥獣捕獲への人材育成として、狩猟免許取得費用の助成と射撃場の整備を早期に図るよう求める。	捕獲従事者の確保については、鳥獣被害対策実施隊の設置を促すとともに、狩猟免許取得、捕獲活動経費の助成、捕獲奨励金の交付を継続して推進したい。 射撃場の整備については、現在、東部地域1市4町で鳥取クレイ射撃場の再開に向けて検討がなされており、本県も技術的な助言等を行いながら検討会の中で議論を行っていきたい。 ・鳥獣被害総合対策事業 113,461千円 ・鳥獣捕獲者確保環境整備事業 6,840千円
4 木質バイオマス原料の利用促進	
木質バイオマスの導入は国の積極的な支援がなされている今が推進の時期であり、本年も公共施設等への積極的な	木質バイオマスの熱利用のモデル施設として、昨年12月、県立農業大学校に木質チップボイラーと農業用ペレットボイラーを設置したところであり、平成26年度は、町営施設における木質バイオ

要望項目	左 対 する 対 応 方 針 等
使用を図るため、助成措置の拡充が必要である。	<p>マス熱利用施設整備に対する支援を当初予算において検討している。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・木質バイオマス熱利用推進事業 54,500千円 ・鳥取県緑の産業再生プロジェクト事業（木質バイオマス利用施設等整備）32,500千円
高騰により安定経営が危惧される燃油からの切り替えとして、農家のハウスなどの施設園芸での木質バイオマス原料の利用を促進するよう要望する。	<p>1戸あたりの栽培規模が小さく、冬季の積極的な加温を行っていない本県の施設園芸においては、設備投資に燃油ボイラーの6～10倍程度かかる木質バイオマスの導入は進んでいないが、現在、県立農業大学校に導入された施設において、燃油ボイラーとのコスト等比較を行っているところであり、その結果を踏まえて対策を検討していきたい。</p>
5 鳥取市医療看護専門学校設置への対応の慎重な検討 既存の学校との適正な定員や学科の配置なども答申できるように私学審議会の認可権限の明確化を求める。	<p>私立学校の設置認可に当たっては、私立学校審議会の審議・答申を経て行うこととされており、法令に定める設置基準(授業時間数、教員数、校地・校舎の面積など)を満たしているか審査することとなっている。設置基準には、適正な定員、学科の配置等の調整に関する事項はなく、審査事項になっていない。(なお、広島県において私立学校審議会が定員等に制限を加えられている事実はない。)法令に基づき申請を審査・審議する中で、関係者のお話も聞きながら適切に進めていきたい。</p>
今議会に支援要望が提出されているが、これらの調整が不可欠であり滋慶学園への財政支援に関しては慎重に検討されるよう求める。	<p>なお、鳥取市医療看護専門学校(仮称)の支援については、既に看護師養成施設の整備に対する国庫交付金約173百万円を確保しており平成26年2月補正での予算化を検討している。</p> <p>一方、平成26年1月10日に学校の設置者である大阪滋慶学園から要望のあった学校建設等に対する150百万円の支援については、今後、議会のご意見を踏まえつつ内容をよく精査して検討したい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・【2月補正】看護師養成所施設整備事業 173,487千円
6 清水川の土砂浚渫と西吉成地域の堤防の嵩上げ 西吉成地域の河床の土砂の浚渫、水草の除去、東側堤防の嵩上げが必要であると、地域住民より繰り返し要望されているようであるが、進捗度が遅れている。この地域の安心安全な生活の確保のためにも、水害防止の最重要地域として整備を最優先に行っていただくよう要望する。	<p>維持管理面での水草の除去については、今年度、一部区間について実施したところであり、今後も治水機能が発揮できるように河川管理に努めていく。</p> <p>堤防の嵩上げについては、浸水被害状況を検証して検討を進めているところであり、今後、必要な対策を実施していく。</p>